

千葉労災病院在宅医療研修プログラム (上総在宅診療所)

I 研修プログラムの目的

研修医は研修2年目の研修期間において、地域医療の一つとして在宅医療研修を1週間行う。日常診療で必要な内科的疾患の診断および処置を的確にできることを目的とし、基本的な所見の記載、診断、治療法などを習得するとともに、地域に根差した医療について研修する。

II 研修プログラム責任者

小沢 義典 (千葉労災病院 卒後臨床研修管理室長)

III 研修実施責任者

重山 勇 (上総在宅診療所 院長)

IV 教育課程

1 期間割と研修医配置予定

2年次の1週間を研修期間とし、本人の希望より研修管理室にて配置を決定する

2 到達目標

(1) 一般目標 (GIO)

- ①臨床医に求められる基本的な診療に必要な知識、技能、態度を身につける。
- ②初期診療とコンサルトすべき病態に関する臨床的能力を身につける。
- ③地域医療従事者として慢性疾患患者や高齢患者の管理上の要点を知り、社会生活の計画立案ができる。
- ④患者および家族に対する接遇の基本を身につける。
- ⑤チーム医療において、多職種と協調した医療行為が行えるようになる。
- ⑥医療行為に関する適切な診療簿を作成することができる。

(2) 行動目標 (SBOs)

- ①的確な病歴聴取、正確な聴診・触診を行い、記録にまとめることができる。
- ②内科疾患、特に在宅医療での特性について述べることができる。
- ③患者および家族と良い信頼関係を保てるような診療ができる。また、医療書類(診断書、依頼状、紹介状、報告書)の書き方を学ぶ。
- ④検体検査、生理検査の結果を判断し、その主要所見を述べることができる。
- ⑤薬物投与の仕方と注意点を中心に薬物療法の基本を習得する。
- ⑥高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病の診断と管理、治療法を習得する。

3 学習方略 (LS)

外来研修

指導者の助言や助力を得ながら、診察・治療を行い、問題点の整理、検査・治療計画に参加する。

在宅診療に同行し経験を積むとともに理解を深める。

指導者が患者・家族に行う説明に参加し、インフォームド・コンセントやコミュニケーションの方法を習得する。

研修内容	方法	担当者
外来研修	臨床実習	指導者 コメディカル

《週間スケジュール》

月～水・金～土曜日

外来診療・夕方 フィードバック

4 評価方法 (EV)

SB0s	目的	対象	方法	時期	測定者
②⑤⑥	形成的	想起・解釈	実地観察	中・後	指導者
①③④	形成的	想起・技能	実地観察、口頭試問	中・後	指導者 コメディカル
③	形成的	態度	観察	中・後	指導者 コメディカル

研修医の評価

研修医は EPOC2 により自己の研修内容を記録、評価する。

実施責任者および看護師を含むチーム医療のスタッフが、千葉大作成の指導医・指導者用評価表を用いて研修医の診療および研修態度を評価する。

各評価をもって 2 年目修了前に研修管理委員会にて総括的評価を行い、修了判定の資料とする。

令和 4 年 1 月 24 日編